2027年3月期第2四半期
決算説明資料

2026年11月4日

三菱製鋼株式会社

東証プライム:5632

Ⅰ. 2027年3月期 上期実績

Ⅱ. 2027年3月期 通期予想

上期実績サマリー

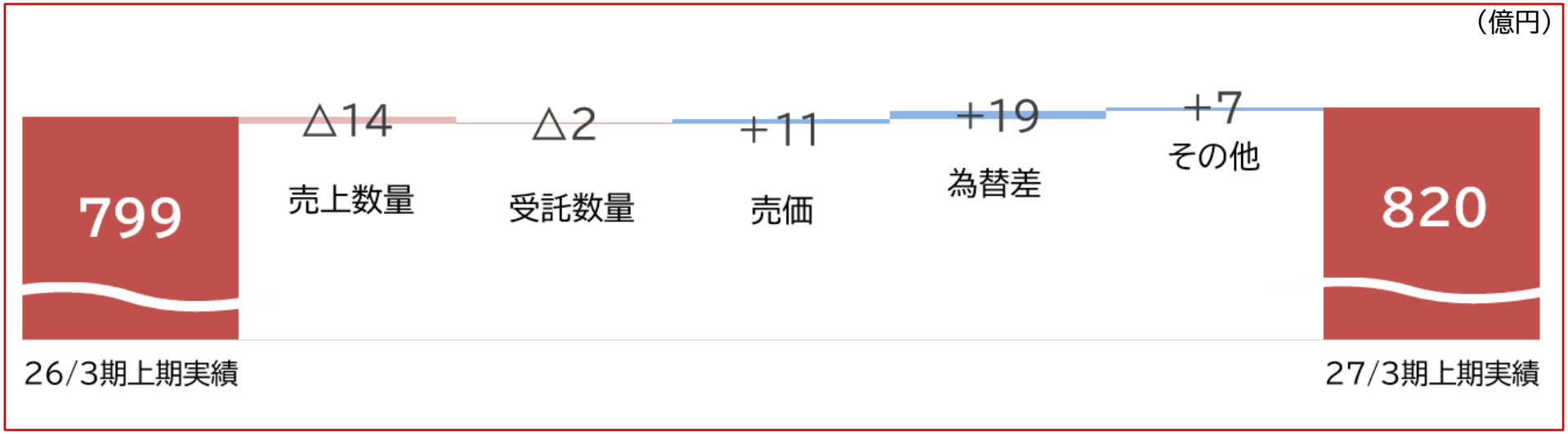
- 売上高は、売価改善が進んだ素形材事業および受注が好調な機器装置事業の伸長等により、増収。
- 営業利益は、売上増に加え、特殊鋼鋼材事業の損益改善により、増益。
- 経常利益および中間純利益は、営業増益により、増益。
- 8月6日公表の上期予想に対し、概ね予想どおりに着地。

（億円）

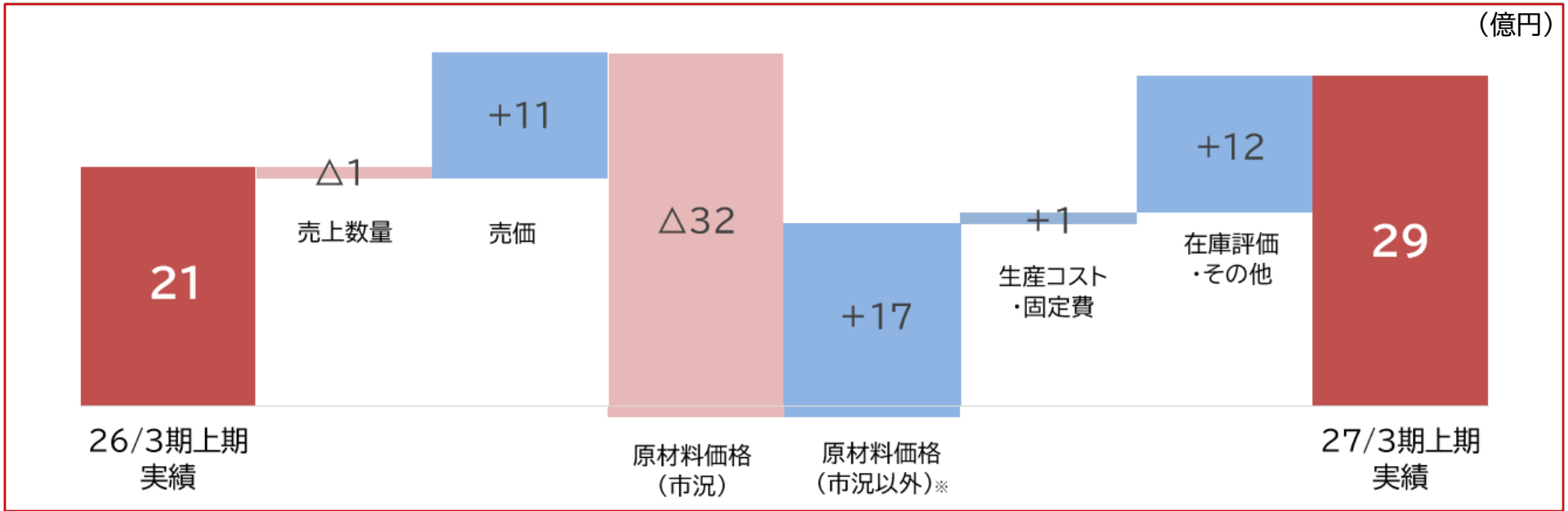
	26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	前年同期比	（参考） 8月6日予想	（参考） 予想比
売上高	799	820	21	805	15
営業利益	21	29	8	28	1
経常利益	14	23	9	22	1
親会社株主に帰属する中間純利益	7	12	5	12	0

売上高・営業利益の変化要因

売上高



営業利益



※日本製鉄株式会社殿と共同で運営する高炉溶銑コストのうち、原材料市況（為替変動分含む）を除いた影響で、室蘭コンビナート全体の操業度等を含む

セグメント別業績実績

（億円）

		26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	前年同期比
特殊鋼材	売上高	377	375	△2
	営業利益	△1	4	5
ばね	売上高	361	367	6
	営業利益	15	11	△4
素形材	売上高	45	55	10
	営業利益	3	6	3
機装器置	売上高	54	64	10
	営業利益	3	7	4
その他	売上高	19	21	2
	営業利益	1	1	0
連結調整	売上高	△57	△62	△5
	営業利益	0	0	0
合計	売上高	799	820	21
	営業利益	21	29	8

セグメント別業績実績(特殊鋼鋼材・ばね)

特殊鋼鋼材事業

(億円)

	26/3期 上期	27/3期 上期	前年 同期比
売上高	377	375	△2
営業利益	△1	4	5

鋼材販売数量(累計)	国内	海外※
26/3期上期	166千t	41千t
27/3期上期	158千t	47千t

(※海外は12月決算のため、海外欄の数量は各年1～6月累計)

◆ **売上高(横ばい)**

- 【国内】(減収)
  - ✓ 前期に発生した高炉トラブル・火災事故影響が1Qに一部残り、売上数量減。
- 【海外(インドネシア)】(増収)
  - ✓ 売上数量増。

◆ **営業利益(増益(黒字転換))**

- 【国内】(増益)
  - ✓ 前期は室蘭コンビナート全体の数量減による生産性悪化が生じた。
  - ✓ 今期は高炉トラブル・火災事故影響が残るも、売価改善が進捗。
- 【海外(インドネシア)】(増益)
  - ✓ 数量増と売価・コスト改善。

高炉トラブル・火災事故は、5月下旬から通常操業に戻っており、その影響が解消している

ばね事業

(億円)

	26/3期 上期	27/3期 上期	前年 同期比
売上高	361	367	6
営業利益	15	11	△4

◆ **売上高(横ばい)**

- 精密部品が前期における顧客の量産立上げに伴う増産対応が一巡した影響で減収。
- 北米子会社の為替影響。
- 国内での板ばねの売上数量増や自動車用ばねの新規量産品の立ち上がり。

◆ **営業利益(減益)**

- 精密部品の数量減。
- 中東情勢に係るコスト増影響。

セグメント別業績実績(素形材・機器装置)

素形材事業

(億円)

	26/3期 上期	27/3期 上期	前年 同期比
売上高	45	55	10
営業利益	3	6	3

◆ **売上高(増収)**

- タイムラグが発生していた合金原材料価格上昇に伴う特殊合金粉末の売価転嫁が進捗。
- 精密鋳造品等の売上数量増。

◆ **営業利益(増益)**

- 特殊合金粉末の売価改善。
- 精密鋳造品の数量増と売価改善。

機器装置事業

(億円)

	26/3期 上期	27/3期 上期	前年 同期比
売上高	54	64	10
営業利益	3	7	4

◆ **売上高(増収)**

- 海外化学プラント向け塔槽機器および環境関連製品等の売上増。

◆ **営業利益(増益)**

- 売上増に加え、各種製品の生産性が向上。

営業外損益・特別損益影響

（億円）

為替レート			
25/3期末	150円	26/3期上期末	149円
26/3期末	160円	27/3期上期末	157円

	26/3期 上期実績	27/3期 上期実績	前年同期比
営業利益	21	29	8
営業外損益	△7	△7	0
為替差損益	△2	△1	1
支払利息	△6	△6	0
経常利益	14	23	9
特別損益	1	ー	△1
投資有価証券売却益	1	ー	△1
税金等調整前中間純利益	15	23	8
税金費用等	△6	△7	△1
非支配株主に帰属する中間純利益	△2	△4	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	7	12	5

Ⅰ. 2027年3月期 上期実績

Ⅱ. 2027年3月期 通期予想

通期業績予想サマリー

- 2027年3月期上期の業績は、前年同期および期初予想を上回ったが、下期は以下の動向を見極める必要がある。
  - ✓ 国内鋼材事業：足元の原材料・エネルギー価格等の上昇と、それを踏まえた売価転嫁の進捗。
  - ✓ ばね事業：中東情勢に伴うコスト上昇や、中国における日系自動車メーカーの減産による影響。
- こうした状況を踏まえ、現時点では下期業績を慎重に見通し、5月13日に公表した通期業績予想を据え置く。引き続き、売価改善と生産コストの低減に取り組み、期初予想に対するさらなる上積みを確実にする。

（億円）

	26/3期 実績	27/3期予想		前期比
		上期実績	通期（期初予想）	
売上高	1,546	820	1,660	114
営業利益	48	29	64	16
経常利益	40	23	51	11
親会社株主に帰属する当期純利益	31	12	31	0

セグメント別業績予想(特殊鋼鋼材・ばね)

特殊鋼鋼材事業

◆ **期初予想**

- 国内は、高炉トラブル・火災事故影響の解消により損益改善。
- 海外は、数量増も物価高騰による資材や労務費等のコスト増により減益。

◆ **足元の状況・下期見通し**

- 【国内】✓ 高炉トラブルおよび火災事故の影響が想定より早期に解消したことから、販売数量は想定を上回った。
  ✓ 下期は、販売数量が上期の水準を上回る見通し。一方、足元コスト上昇が進んでおり、売価転嫁に向けた交渉を進めているが、期ズレとなる可能性がある。
- 【海外】✓ 数量増および売価・コスト改善が進捗し、増益の見通し。

(億円)

	27/3 上期実績	27/3 通期見通し	(参) 26/3 実績
売上高	375	765	649
営業利益	4	17	△10

ばね事業

◆ **期初予想**

- 精密部品の数量減影響がある一方、北米子会社を中心に生産コスト改善を推進。

◆ **足元の状況・下期見通し**

- 精密部品の数量減や中国減速、中東情勢に伴うコスト増等の影響を受ける。
- 北米子会社の損益改善は1Qの一過性の設備故障(解消済み)により遅れたが、2Q以降生産性向上や構造改革の取り組みを進めている。下期に挽回するが、上期未達の影響が残る。

(億円)

	27/3 上期実績	27/3 通期見通し	(参) 26/3 実績
売上高	367	738	762
営業利益	11	29	40

セグメント別業績予想(素形材・機器装置)

素形材事業

◆ 期初予想

- 特殊合金粉末の原材料価格上昇継続に加え、新製造ラインの減価償却費が発生し減益。

(億円)

	27/3 上期実績	27/3 通期見通し	(参) 26/3 実績
売上高	55	103	98
営業利益	6	8	8

◆ 足元の状況・下期見通し

- 上期において、特殊合金粉末は売価改善に加え、一過性の在庫評価益を計上。精密鋳造品は売上数量増および売価・コスト改善により、期初想定を上回る。
- 下期は一過性要因の解消に加え、償却の影響があるが、引き続き売価・コスト改善を進め、業績の改善を図る。

機器装置事業

◆ 期初予想

- 前期より好調なガスタービン向け製品および鍛圧機械等の売上増。

(億円)

	27/3 上期実績	27/3 通期見通し	(参) 26/3 実績
売上高	64	124	118
営業利益	7	10	9

◆ 足元の状況・下期見通し

- 上期は海外化学プラント向け塔槽機器等の売上増により、好調に推移した。
- 通期業績も期初予想を上回る見通し。

✓ 受注面では、防護装備品やエネルギー関連を中心に受注が引き続き堅調に推移する見込み。

通期業績予想(営業外損益・特別損益影響)

◆ 営業外損益・特別損益は期初予想並みを見込む。

- ✓ 営業外損益は、為替変動に伴う評価差益の剥落により、悪化を見込む。
- ✓ 税金費用等は、前期に計上したメキシコ子会社の売却に伴う過去の繰越欠損金に関する税効果影響の縮小もあり、悪化を見込む。

(億円)

為替レート		
	26/3末	160円
	27/3末(想定)	160円

	26/3期 実績	27/3期予想		前期比
		上期実績	通期予想	
営業利益	48	29	64	16
営業外損益	△8	△7	△13	△5
為替差損益	2	△1	△2	△4
支払利息	△13	△6	△13	0
経常利益	40	23	51	11
特別損益	△1	―	―	1
土地・株式等売却益	8	―	―	△8
高炉関連費用	△9	―	―	9
税金等調整前当期純利益	40	23	51	11
税金費用等	△3	△7	△14	△11
非支配株主に帰属する当期純利益	△6	△4	△6	0
親会社株主に帰属する当期純利益	31	12	31	0

【ご参考】主要指標・財務データ等の推移

	25/3期 通期	26/3期 通期	27/3期 予想
総資産 (億円)	1,387	1,415	1,480
純資産 (億円)	499	565	589
自己資本比率 (%)	30.8	34.4	34.0
ROE (%)	5.6	6.7	6.3
営業CF (億円)	60	101	22
ネットD/Eレシオ (倍)	0.8	0.5	0.6
配当 (円/株)	64.0	81.0	104.0
配当性向 (%)	41.0	40.1	50.7
DOE(*) (%)	2.3	2.8	3.5
研究開発費 (億円)	17	16	16
設備投資 (億円)	42	48	58
減価償却費 (億円)	41	37	38

(*)DOE：支払配当 ÷ 株主資本(前期末) で算出

三菱製鋼株式会社

＜将来見通しに関する注意事項＞
本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。